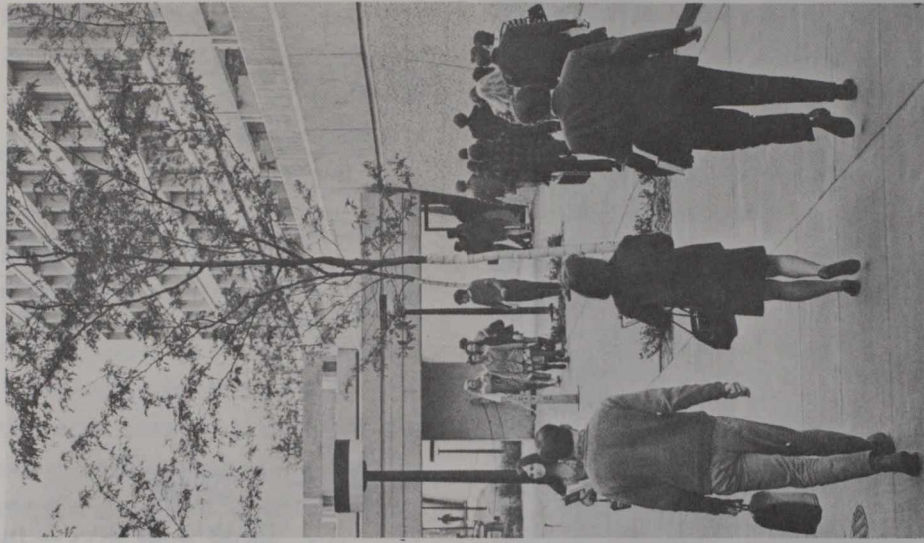


ためには、これはよいシステムといえよう。

しかし、大学院ともなると、各教授の研究室が学部ごとに統率され配置されていないために、建物をあちこち尋ねまわらなければならないこともおこる。大学組織に限らず、学生生活を支える他の多くのクラブ活動、自治会、キャンパス・サービスをとってみても、学生一人一人が直接に組織と交渉しているような感じを受けるほど、大学の行政網は複雑である。二万人以上の大学を合理的に動かすために科学的経営の知識が必要なのは言うまでもないが、この組織網のために、カレッジ・システムのコミュニティー意識養成という目的とは逆に、「ヨーク大学」の学生という意識は彼らには育ちにくいという結果をうんでいる。日本ではまず、学部よりも何大かということが聞かれるが、ここでは何を勉強しているかが問題のようだ。これはおそらく、大学組織の大きさというよりは、文化の相違や高等教育のシステムのうちがいによるのかも知れない。

### 民族的多様性

大学の組織を離れて学生のためのサービス施設をみてみると、カナダの学生生活の雰囲気がいよりのわかる。キャンパス内に銀行、郵便局、子供預り所、診療所はもちろんのこと、各種カウンセリング・デイベロップメント・センター、薬局、旅行社、食料品店、雑貨店、美容院、理髪店、ファッション・ストアなどのほか、かわったところでは、宗教センター、セックスに関するカウンセリング・センター（ホモセクシュアル組織の支部まである）があり、社会生活に必要な最低の



ものは一応そろっている。学生生活に伴う教種の国際団体、学生組織の支部も独自に活動を続けているようであるが、学生団体について語る場合、カナダ特有と思われるいくつかの民族団体のことは是非ふれておかなければならないだろう。

カナダは移民の国である。それを反映して、ヨーク大学の学生もヨーロッパ系、アジア系、アフリカ系、といった具合に、実にカナダの縮図を思わせる程にいろいろな文化的背景をもった人達が集まっている。現在この大学には、イタリア人、ユダヤ人、中国人、アラビア人、第三世界の学生組織があるが、彼らの活動は単なる集まりの域をこえ、ユダヤ教の祝日には全学休校となる程に力があるし、チャイニーズ・ウィークと称したテーマで、映画上映や物産販売、ウクライナ系の展示会、と実に活発。中国人の例をとると、数としては、フルタイム、パートタイムをあわせた全学生数のわずか五パーセントだが、組織の新聞を発行し、チャイ

ニーズ・ニュー・イヤーには寮の食堂をかりきつてパーティーを開くなど、民族的結束力を発揮している。他の大学との比較はできないが、大学講内を歩いていて、英語以外の言葉を耳にするのは日常茶飯事である。日本人、日系カナダ人もこの大学にかなりの人数でいるようだが、残念ながら日系人の民族組織はまだない。

民族的多様性のもう一つの例として、私のとつているあるコースの顔ぶれを紹介してみよう。教授はチエコスロバキアからアメリカ、カナダに移ってきた方で、学生の構成は、チリ出身が一人、ハンガリー人一人、ケベック州のフレンチ・カナディアン一人、ノバ・スコシアのイングリッシュ・カナディアンが一人、そして日本からの私という具合で、英語を母国語として育ったのはたった一人の学生だけ。また友人の行っているあるクラスでは、七人のうち六人までがアメリカ、ヨーロッパからの留学生で、一人のみがカナダ人という構成である。

大学院の学生について私の知りうる限りでも、トロント出身でヨーク大学でB.A.をとり、さらに大学院もヨーク大学でという人はまず一人もいない。もちろん、英語を母国語とする人が圧倒的で、これらの例は偶然によるおもしろい組み合わせかも知れないが、やはりカナダの大学のオープン性をあらわすものとして特に目につく現象といえよう。それだけ学生の流動性があるのだろう。また教授連にしても、平均年齢が四十代という若さだし、ひとつの大学に固執することなく、講演会、セミナーと個別的な学術交換も活発だ。

こういうわけで、私としても、同じアジア系の学生と会つては何か心休まるものを覚えるし、いろいろなアクセントの強い英語を聞いては、うんざりもしながらわが英語力の貧しさも気にならなくなる。外国人の学生にとっては、心理上の利点もあるわけである。

### 大組織の中の個人主義

さて、このような雰囲気の中で、カナダの学生がどのような生活を送っているか、私の目に映るままに触れておきたい。ひとつの特徴は、民族的構成のみならず、年齢構成の点で、とりわけ大学院には、その中でも実務むきの分野、例えばLaw Schoolに、社会からもどつてきた人、あるいは働きながら勉強するというパートタイム学生の割合が多いことである。また、身体的障害をもつ学生が車イスで校内をまわっている姿もよくみかける。彼らの日々の生活は、勉強、交友、映画、買物、デートと日本の学生生活と変わりがない。